

花壇づくりワークショップ ニュースレター

Vol. **03**
平成 29 年 12 月 6 日号

日時：平成 29 年 12 月 6 日
13：40～15：40
場所：馬見丘陵公園
ボランティアハウス
参加者：16 人

13：40～13：45 フラワーフェスタの振り返り
13：45～14：10 現地講習（冬花壇の手入れ）
14：10～14：20 休憩
14：20～15：40 プレゼンテーション演習



フラワーフェスタからの振り返り

9/22 に作成した花壇から本日まで、花サポーター花壇がどのように変化してきたか振り返りを行いました。元からある植物を生かしながら新たな苗を追加して植えたので、植付当初は夏の1・2年草が旺盛でしたが、だんだんと秋の花が咲きはじめ、白、黄→ピンク、赤、オレンジへと色が変化していきました。

植付後	草花の開花状態
植付当日	メランポジウム、ジニア、アンゲロニアが旺盛
1週間後	ヤナギバヒマワリが開花、コムラサキが結実
2週間後	セロシアインテンツ、サルビアファリナセアが開花
3週間後	コスモス、ナデシコ、シュウメイギクが開花 ジニア（赤）、センニチコウが色付く
5週間後	アガスターシェ、ピンポンマム、バコパが開花 ヘンリーズタが紅葉、メランポジウムが枯れ始める
7週間後	ジニアが枯れ始める、ギョリュウバイが開花
2ヶ月後	枯れずにあるのはピンポンマム、バコパ、ゴシキトウガラシ、ギョリュウバイ



冬花壇の手入れについて

12/6 時点の花サポーター花壇は、昨年の秋に植えたピンポンマム、昨年冬に植えたギョリュウバイの花が咲いていますが、他の1・2年草、宿根草は枯れているものが多いです。

冬の花壇はほとんどの花が枯れてしまうので、寂しい姿になってしまいます。冬に咲く花を植える他にも、植物の成長の鈍くなる冬の内に、春に向けての準備を行いましょう。

花サポーター花壇では冬に向けて、下記の春に向けての準備の他に芝切りを行い、パンジーやストック等の花を植えました。

◆春に向けての準備◆

- ・1・2年草のうち、冬越しできないものを抜く。
- ・雑草はこまめに抜いておく。
- ・宿根草は切戻す。
- ・マルチングをする。



質問コーナー

コニファーの内側が茶色になったらどうすればいい？

コニファーは枯れやすく、病気にもなりやすい木です。一般的に、下から葉が枯れるのは水切れ、上から葉が枯れるのは病気や虫、内側から葉が枯れるのは風通しの悪さによる蒸れです。

コニファーの手入れは、

- ①葉に日光が当たる環境
- ②風通しの良い環境

を作る事が重要です。枯れた葉は元に戻らないので、剪定バサミや手で枯れた葉を取り除きます。剪定の適期は10～12月ですが、そのままにしておくと虫が越冬しやすい環境になるので、こまめに取り除きます。3～4月になると新芽が芽吹きはじめます。葉が密になると蒸れやすくなるので、ハサミで適度に透きます。また、コニファーの根は浅いので、大きくし過ぎると風で簡単に倒れてしまいます。倒伏を防ぐためにも葉を透いて風通しを良くし、背丈を伸ばしすぎないようにしましょう。



自分の好きな花壇・庭についてみんなの前で発表しよう（プレゼンテーション演習）



今年度の花サポーターワークショップでは、花サポーターの皆さんがご家庭や地域で花修景のリーダーとなれるような力を付けていただくことが目的です。そこで、普段の皆さんの活動や思いを人に伝える力を付けるための演習として、「自分の好きな花壇・庭」についてプレゼンテーション演習を行いました。自分の好きな花壇や庭の写真を持参し、それをスライドに映しながら、前に立って説明を行いました。上下 16 枚の写真が発表に使った花壇や庭の写真です。

自分の考えていることを簡潔に、正確に人に伝えるために必要なことをまとめ、分かりやすく説明するための練習です。今日の演習では以下の決まり事を守りながらプレゼンを行いました。

テーマ「自分の好きな花壇・庭」

◆プレゼンテーションの手順◆

- ①写真を基に、5W1H(いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように)を書き出す。
- ②プレゼンシートの内容を2分で説明できるように強調したい内容、不必要な事柄を取捨選択する。
- ③喋る練習をする。
- ④スライドを映しながらプレゼンテーションを行う。
 - ☆制限時間は1人2分
 - ☆説明の前に、まず自己紹介をする。
 - ☆説明が終わったら、質問を受け付ける。
- ⑤城水講師からコメントを貰う。

当初の目的は、短い時間の中で自分が伝えたいことを簡潔にまとめる練習でしたが、今日のプレゼン演習を通して新たな発見が沢山ありました。この花サポーターワークショップの活動のほかに、それぞれの地域やご家庭で花修景活動をしている様子など、知らない一面をお互いに知ることが出来る良い機会になりました。プレゼン後には自然と質問が飛び交い、とても有意義な時間となりました。

- 写真上段左から1番目 「自宅の花壇」土留はDIYで垂鉛メッキ鋼板（トタン板）を使った。
- 写真上段左から2番目 「2014年度花サポーター花壇」花サポーターワークショップの初めての作品。
- 写真上段左から3番目 「地元公園の花壇・ボランティア活動」花壇が出来て、子どもたちに喜ばれている。
- 写真上段左から4番目 「地元小学校の花壇・ボランティア活動」宿根草が中心。ルドベキア・タカオを波型に配置。
- 写真上段左から5番目 「自宅の庭」ルリマツリを植え付けて3年目、かなり大きくなった。
- 写真上段左から6番目 「自宅の庭」前面道路のバス停から見える場所なのでがんばっている。
- 写真上段左から7番目 「馬見丘陵公園内・夢庭会の花壇」県民共同花壇を利用して、花壇をゼロから作成した。
- 写真上段左から8番目 「滋賀県彦根市・龍潭寺」地元の庭園見学会ツアーに参加して見に行った。
- 写真下段左から1番目 「東北大震災で被災した花から増やしたひまわり」震災復興を祈りながら種を繋いでいる。
- 写真下段左から2番目 「地元公園花壇・ボランティア活動」中央のテラコッタ人形は手作り。
- 写真下段左から3番目 「自宅の庭」フジバカマには毎年アサギマダラ（蝶）が訪れる。
- 写真下段左から4番目 「馬見丘陵公園内・菖蒲園」毎年楽しみにしている。皆さんもぜひ見に来て！
- 写真下段左から5番目 「山登りの途中で見つけたツタハウス」思わず覗き込みたくなる蔦だらけの小屋。
- 写真下段左から6番目 「自宅の庭」木を中心にして、花で囲むように花壇を作成。
- 写真下段左から7番目 「ニゲラの花」綺麗に咲いていたので、思わず撮影。
- 写真下段左から8番目 「パンジーの花」鉢からこぼれ流れるような花壇。

